

太閤ヶ平を歩く

太閤ヶ平は、鳥取城山上ノ丸から東に1.5kmの地点、本陣山と呼ばれる山の頂き（標高251m）にあります。1581年（天正9）の兵糧攻めに際して築かれた陣城（戦いのために臨時的に築かれた城）群の本陣で、織田信長の家臣であった羽柴秀吉が約100日間全軍指揮にあたった場所です。そこからは、秀吉のほか、後に築城の名手として知られる加藤清正や藤堂高虎、キリシタン大名で著名な高山右近、秀吉の軍師として活躍した黒田官兵衛などの武将が見た鳥取城の姿を、今も望むことができます。

